

いよいよ、2学期の入口が見えてきました。旅行に行かれたり、ご家族と一緒にゆっくり過ごされたりと、日頃なかなかできない『ゆったり時間』を満喫することができたことと思います。

「全国学力・学習状況調査」や「標準学力調査」の分析を通して、これから子どもたちにどのような力を付けていかなければならないのか、どこに重点をあてながら指導にあたっていくのか、改善のための取組を考えられたと思います。6年生で実施する「全国学力・学習状況調査」では、各学年の学力の積み重ねが必要です。今、担当している学年の子どもたちに“**その学年で指導・定着すべき内容の積み残し**”がないよう“今できること”を精一杯していけるといいですね。

「ふれあい道徳参観日」の学習指導案や2学期の「道徳学習プロジェクト」の作成にも早々に取り組んでくださり、ありがとうございました。2学期の見通しももつことができたと思います。

『**声をあげれば、どの先生も自分のことのように一生懸命考えてくれる…**』、私はこのことが広南小の大きな強みだと誇りに思っています。お互いに遠慮なく、声をあげていきましょう！！

酷暑に負けないくらいの熱い気持ちで“**チーム広南**”で乗り切っていけるといいですね。

★ 学習指導案検討の内容【参考までに】 ★

22日(金)に行った「3年生の学習指導案検討」では、多くの意見ありがとうございました。上手くまとめられないのですが、先生方が“**主体的に考え、議論した内容**”を載せています。28日(木)に予定している模擬授業までに、検討した内容を再考しておいてくださいね。

① 教材「たまちゃん、大すき」を子どもたちにどう出合わせるか…

- ◆ 挿絵を手掛かりにしながら教材に出合わせる。 → **挿絵を効果的に活用**
- ◆ 挿絵は時系列で提示する。 → **挿絵とつなげて思考の整理**

② どのように「課題」へとつなげていくか…

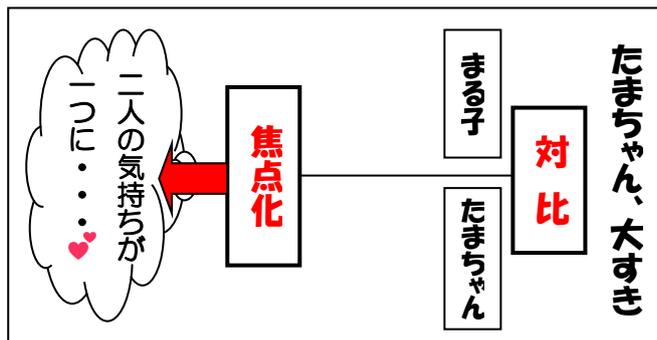
- ◆ 『今日は～について考えていこうね。』 → **考える視点の明確化**
 ※ 子どもたちに考えてみたい場面(ところ)を自己決定させる、さらには全体で決めていく活動 → **決定する目的や根拠が曖昧なための難しさ**
- ◆ 子どもたちの感想をつなげて課題につなげていく。
 (感想例)『最後にまる子とたまちゃんが仲直りできてよかった。』
 → どうして2人は仲直りができたのかな…。(発問例)
- ◆ 子どもたちの感想から逆思考で課題につなげていく。
 → **予想される感想と発問を整理**

③ 『友だちのよさ』について 価値の核心にどう迫らせていくか…

- ◆ 友だちのよさ → **目指すもの(めあて)が抽象的なための難しさ**
(例)『友だちとよりよい関係であり続けるために大切なことは?』
※ 単に「～してもらうことが友だち」という表面的な思いからの脱却を目指す、学習の振り返りから逆思考で考えた課題を設定する。
→ **振り返りは目指す子どもたちの姿(ゴールイメージ)**
- ◆ 「お母さんにおなべの火を見ていてってたのまれている…」
「そう言ってから まる子は はっとしました。」
→ **心の動きの大きい場面にも思考が深まる視点**
※ 2人の気持ちの「すれ違い」が「相互理解」 → よりよい友だち関係へ
- ◆ 「2人とも なみだが とまりませんでした。」
(発問例) 2人とも、涙が止まらなかったのはどうして?
→ **価値の核心に迫らせる揺さぶり発問や切り返し発問**
- ◆ 哲学対話を通して、まる子とたまちゃん両者の立場で考え、議論させる。
→ **考え、議論するだけの時間を十分確保**
※ 哲学対話では、子どもたちだけで「なんで?」「それってどういうこと?」
尋ね合ったり、伝え合ったりできるスキルを日頃から育てていく。

④ 子どもたちの思考の流れが一目で分かる板書にするには…

- ◆ 感想の板書は、短い言葉で最小限にする → **時間の短縮へ**
- ◆ まる子とたまちゃんの気持ちを対比する形でまとめていく。
- ◆ すれ違っていた2人の心が少しずつ近づいていく…、互いに相手を思い合っていたという思考の流れを板書に残す。



★ 『教材のよさ』を生かした授業づくり ★

泣きながら抱き合う姿から、子どもたちに何を学ばせたいか…。
考え、議論するとは、子どもたちのどのような姿なのか…。

【やってダメなら、また新たなことをやればいい】

私たちは“いつだって挑戦者”でいいのです。子どもたちのために一緒に考えていきましょう。
「全国学力・学習状況調査」の分析を添付していますので、一読しておいてくださいね。